

(平成 30 年 10 月試験研究業務月報)

試験研究課題：ICT を活用した京都オリジナルのスマート生産技術の開発
トウガラシ類等パイプハウスの環境制御技術の開発

研 究

土の乾き具合に応じて自動でかん水できる装置の開発

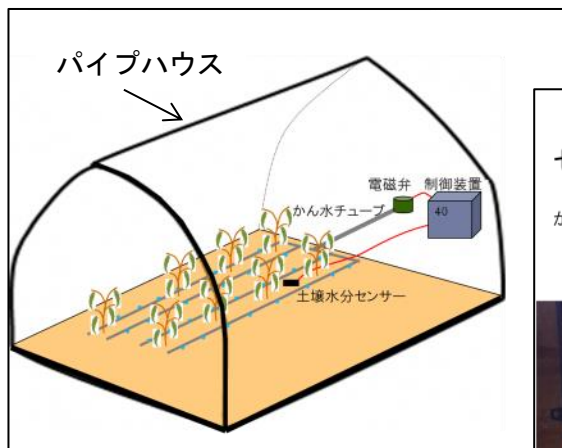
京都府が生産拡大を進めている万願寺トウガラシは乾燥に弱いため、土壌水分量に応じたきめ細かなかん水※が必要です。

このため、当センターでは万願寺トウガラシのパイプハウス栽培において、きめ細かなかん水が可能な低コスト自動かん水装置の開発に取り組んでいます。その結果、従来 1 日に 1 回のかん水に比べて、盛夏期の土壌水分が一定に保たれ、秀品収量が増加しました。

今後は、農家の水源からの取水方法、電源の配線状況の確認を行い、ハウスの状況に応じた設置方法を検討し、32 年からの普及を目指し来年度から実証試験を行います。

なお、この成果は 10 月 21 日に開催された農業生産技術管理学会平成 30 年度大会（高知大学農林海洋科学部）において報告を行いました。

※ かん水：農作物や草花に水を与えること



自動かん水装置の概略図
(学会報告から抜粋)



自動かん水装置による制御方法（学会報告から抜粋）